



日本医療機能評価機構
認定病院

原三信病院 広報誌

いちにのさんしん

I c h i • N i n o • S a n s h i n

No.83

2023.5.1



作品名:「杖立温泉鯉のぼり祭り」 撮影地:「熊本県阿蘇郡」 撮影者:「齋藤 栄介」

CONTENTS

新入医師の紹介	2
THE がんばる人たち「CKD外来看護師」	3
特集「 γ -GTPが高いのはアルコールのせい、だけではありません」	4
医学雑学「レオカーナについて」	5
管理栄養士がつくる季節のレシピ	6
リハビリテーション科だより・香椎原病院だより	7

病院理念

病人のための病院

病院基本方針

1. 質の高い医療の追求
2. 居心地の良い環境の提供
3. 心のこもったサービスの実践

新入医師の紹介

2023年4月より新しく21名の医師が入職しました。



消化管内科
えさき みつる
江崎 充



消化管内科
よしかわ ちほこ
吉岡 ちほ子



循環器科
やだ りょうこ
矢田 涼子



血液内科
うえの としゆき
上野 稔幸



血液内科
まつお ちえ
松尾 知恵



腎臓内科
こじょう ひでたか
古城 英貴



呼吸器科
わたや ひろし
綿屋 洋



呼吸器科
ふるかわ りえ
古川 里恵



脳神経外科
ながしま たかあき
長嶋 孝昭



外科
みぞぐち きよたか
溝口 聖貴



整形外科
なかかわ こう
中川 航



泌尿器科
こばやし ひろき
小林 裕貴



泌尿器科
わだ やまと
和田 大和



泌尿器科
ふじもと ゆうし
藤本 雄史



婦人科
ゆげ のりひと
弓削 乃利人



婦人科
やまみち りきこ
山道 力子



婦人科
ながしま あや
長嶋 彩



放射線科
こもり てつし
小森 哲士



麻酔科
よしまつ みき
吉松 美紀



研修医
やまの さとし
山野 悟史



研修医
とよだ りょう
豊田 亮

地域みなさんへ

より充実した医療を提供できるよう、
職員一同、さらに努力してまいります。



THE

がんばる人 たち

CKD 外来看護師



CKD外来看護師 大島 誠吾 山中 理佐
 荒卷 久美子 窪山 洋平
 芦刈 幸子 金丸 里紗
 呉 孟秋

CKD 外来とは？

CKD(慢性腎臓病^(※1))の進行を抑えることを目的として、病気や治療方法についての説明、生活指導などを行う外来です。慢性腎臓病が進行して腎不全になった場合は、腎臓の働きを補う治療(腎代替療法)として透析^(※2)や腎臓移植が必要になってきます。それぞれの治療の特徴や生活スタイルの変化について、患者さんご自身にもしっかり考えていただけるようサポートしています。

具体的には、看護師から患者さんに腎臓病の基本的な知識を説明し、患者さんと一緒に採血や蓄尿^(※3)の結果を見ながら生活指導や薬の内服管理等を行っています。また、医師・看護師からの説明・指導だけでなく、管理栄養士から食事面の指導もしています。



■ CKDの指導

心がけていることは？

CKDの進行を抑え、透析や移植をなるべく先延ばしにするためには食事管理・血圧管理・禁煙などの自己管理を行うことが必要になりますが、患者さん



■ 管理栄養士からの指導

によって生活様式は様々ですので、一人ひとりに合わせた指導を心がけています。治療を長く継続することが一番大切ですが、最初から色々な制限をしすぎてしまうと続かないことも多いです。例えば食事面では、間食を減らす・間食の種類を変える・ご家庭で料理をされている方にも指導に同席してもらいご協力いただくなど、患者さんが無理なく続けられることを一緒に探しながら指導を行っています。

患者さんへのメッセージ

CKD外来では専門的な知識を持った看護師が医師の診察時から同席し、医師の治療方針も踏まえて患者さんにお話ししていきます。透析の導入が近づくにつれて腎臓の状態のこと、治療法や治療費のことなど、わからないことに対する不安感が強くなる患者さんも多いですが、私たちは複数ある治療法のメリット・デメリットをしっかり説明し、患者さんの心身の負担をできる限り小さくしながら治療に取り組めるようサポートしていきますので、わからないことやご心配なことは安心してご相談していただければと思います。



■ 腹膜透析の指導

※1 慢性腎臓病:生活習慣病や慢性腎炎など様々な原因で腎臓の働きが徐々に悪くなる病気で、CKD(Chronic Kidney Disease)と呼ばれます。病気が進行し腎不全となると体内から老廃物を除去することができなくなるため、最終的に透析や腎臓移植が必要となります。

※2 透析:腎臓の代わりに血液から老廃物や余分な水分を人工的に取り除き、血液をきれいにする治療法です。血液を体外に取り出して透析を行う「血液透析」や、内臓表面を覆っている腹膜を使って体内で透析を行う「腹膜透析」があります。

※3 蓄尿:排泄の度に尿を溜めていく採尿方法で、普段の生活の中での腎臓の働きや塩分摂取量などを調べることができます。

特

集

γ-GTPが高いのは アルコールのせい、 だけではありません



診療部 部長
肝胆膵内科 部長
古藤 和浩

健康診断を受けると、肝疾患の指標として、ALT・AST・LDH・ALP・γ-GTPの項目が並んでいるのが一般的です。これらを総称して肝胆道系酵素と呼びますが、その名の通り、肝細胞や胆管細胞に多く含まれている酵素なので、上昇している場合は肝臓や胆管に障害があることを示しています。また、これらの酵素の分布は一樣ではなく、上昇の条件も一定ではないので、どの酵素が優位に上昇しているのかのパターンを見れば、おおよその病名は診断可能です。

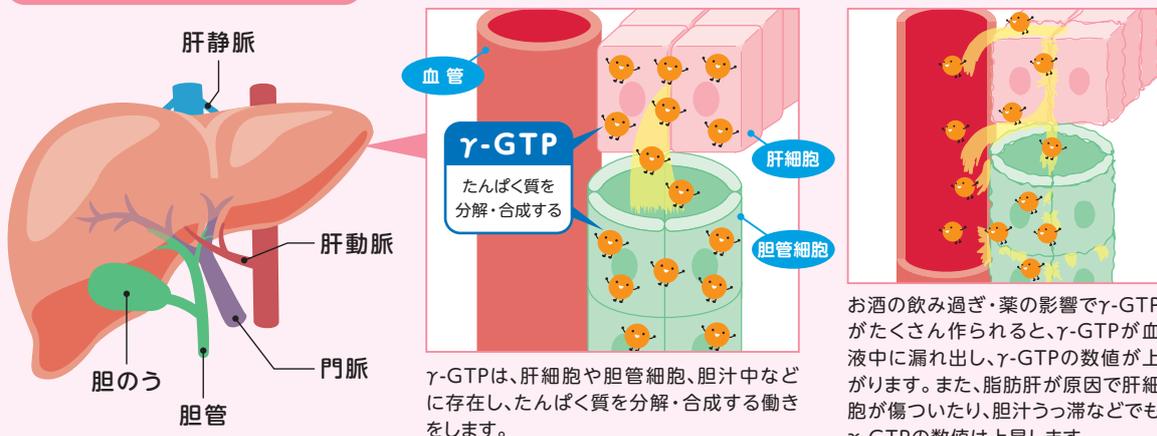
いくつも項目があって面倒な感じもしますが、お酒好きの方の間でよく知られているのはγ-GTPです。これが上昇していると飲酒量を控えるように注意される羽目になります。毎年健診を受けていると受診者も学習しますから、健診の数日前からお酒の量を減らすような姑息な対策をとったりするわけです。しかし、飲酒で上昇したγ-GTPを下げるためには少なくとも2週間以上が必要です。気をつけましょう。

注意が必要なのは、γ-GTPの上昇はお酒のせいばかりではないということです。頻度の順に原因を挙げると、①飲酒、②脂肪肝、③胆汁うっ滞^(※1)性、④薬剤性です。特に注意が必要

なのは③の胆汁うっ滞性で、慢性的にγ-GTPが高いにもかかわらず、お酒のせいにされて放置されていることがしばしばあります。お酒を控えていたのに下がっていない、あるいはγ-GTPの値がALTの10倍以上ある、という場合には、アルコール以外の原因が隠れている可能性を考えてみるべきです。「胆汁うっ滞性」とは、胆汁の流出を妨げるような状況を広く指しますから、胆石、胆管炎、膵頭部癌などが代表的ですが、何年にも渡ってγ-GTPが高い場合は、肝内の細胆管が徐々に破壊されていく原発性胆汁性胆管炎(PBC)の可能性が最も高くなります。

飲酒者のPBCが見過ごされる最大の要因は、申告している飲酒量の信頼性にあります。世の中の酒飲みは、ほぼ間違いなく飲酒量を過少申告します。医者側の側も承知しているので、どうせもっと飲んでいるだろうと考えて、γ-GTPの上昇をお酒のせいにしてしまいがちなのです。もし本当に1ヶ月程度お酒を控えていたのにγ-GTP値が高いままだったら、真剣な目で飲んでいないことを訴えるようにしましょう。もっとも、飲酒はしないことが一番なのですけどね。

γ-GTPのはたらき



※1 胆汁うっ滞: 肝臓で作られた胆汁は胆道系を通じて十二指腸に排泄されますが、胆汁の流れがどこかで阻害され、胆汁の成分が肝臓や胆管内に停滞し、血液中に漏れ出している状態のことです。

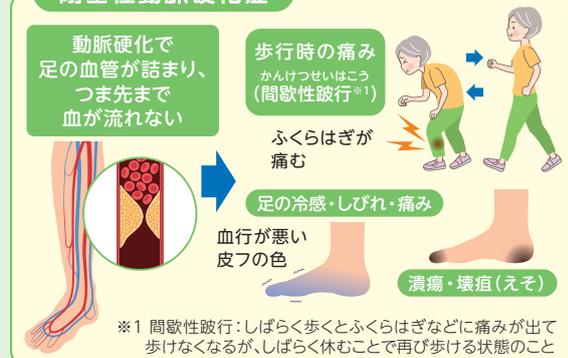
レオカーナについて



腎臓内科 部長
満生 浩司

高血圧や糖尿病に代表される生活習慣病は、全身の血管が傷んで動脈硬化を引き起こし様々な臓器障害を発症します。その代表が脳卒中や心筋梗塞ですが、足の動脈硬化も大変な病気です。「閉塞性動脈硬化症」と呼ばれ、足先の血流が悪くなるため、冷感やしびれ、歩行時の痛みなどが初期症状です。軽症であれば動脈硬化進行や血栓の予防薬で治療するのですが、重症化すると狭くなった動脈に対してカテーテル治療やバイパス手術を行う必要があります。それでも悪化すると安静時も足が痛み、さらには皮膚潰瘍や感染を起こすようになり、「重症下肢虚血」と呼ばれる状態になります。そのままにしておくと壊死や敗血症を併発し生命に危険が及ぶため、最終的にはやむを得ず下肢切断手術に至る場合もあります。その中には、最初はちょっとした深爪や靴擦れに過ぎなかった患者さんも多くいらっしゃいます。このように、ささいな足先の傷ですら治すのに大変難渋することが特徴で、それはもともと血の循環が悪いためできた傷口の修復力自体が落ちているからです。そのため、薬物療法をはじめカテーテル治療、バイパス術などを駆使して少しでも血管の流れを改善するように努力しなければなりません。

閉塞性動脈硬化症



その治療法の一つとして、機械を使って血液を浄化する方法があります。腕の血管から血液

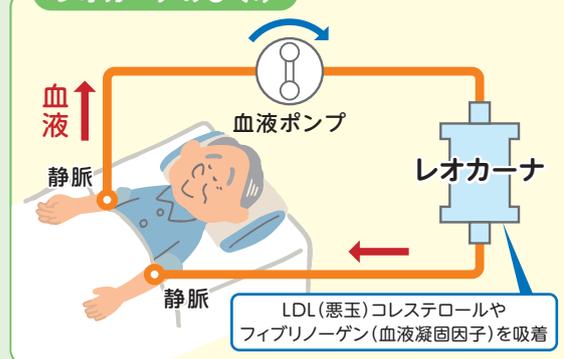
を取り出して、特殊なフィルターを通過させ血液中の有害な物質を除去することで病気の状態が改善する治療で、代表例としては腎不全で行われる血液透析があります。

2021年3月に始まった「レオカーナ」という新規フィルターを使った血液吸着療法は、血液中のLDL(悪玉)コレステロールやフィブリノーゲン(血液凝固因子)を吸着することで足の血流を改善させる方法です。時間は2時間かかり、週2回程度継続して効果を待ちます。透析患者さんで治療することも多く、機械自体も血液透析と共通していますので、写真のように透析室で行っています。ただし、ACE阻害薬という降圧薬を内服中の方は強いアレルギーを生じますので施行できません。なかなか治らない足の潰瘍が治癒するなど、従来の方法で難渋している患者さんにとって重要な助けとなる新しい治療法です。



■ レオカーナ: 実際の写真

レオカーナのしくみ



管理栄養士がつくる
季節のレシピ

ホタルイカと 菜の花の 酢みそ和え



栄養科
原 練留美



栄養成分
(1人分)

エネルギー

87kcal

たんぱく質 ● 5.9g

脂質 ● 1.8g

炭水化物 ● 12.3g

食塩相当量 ● 1.1g

【材料】2人分

ホタルイカ	50g
菜の花	1/2束
白みそ	大さじ2
砂糖	大さじ1
酢	小さじ2

ホタルイカの下処理

- 1 水をためたボウルでやさしく洗う。
- 2 目の部分を外側の黒い部分と一緒に指先でつまんで取り除く。
- 3 口と軟骨を取り除く。

※下処理をすることでなめらかな舌触りになる



作り方

- 1 調味料は混ぜておく。(お好みでからしを入れてもよい)
- 2 菜の花の根元を1cm程切って水で洗う。
- 3 沸騰したお湯に塩を入れ②を1-2分茹でる。茎がやわらかくなったら冷水を張ったボウルにさらしてしっかり水気を絞る。
- 4 ホタルイカも同様に沸騰したお湯に塩を入れ1分程茹でる。色が変わりふっくらとしたらざるにあげて水気を切る。(ボイルされたものはさっと湯通しする程度でよい)
- 5 お皿に盛り付けて完成。



栄養の 豆知識

脱水症予防 のポイント と注意点

● こまめに水分を摂る

一度に沢山飲むと尿がよく出るため、頻回に分けて飲むとよい。
スポーツドリンクや経口補水液は電解質を含むので水分の吸収がよくなる。

● 1日3回の食事を摂るように心がける

食事にも水分や電解質は含まれており、1日3食食べれば塩分5~15g、水分800~1000ml程度が摂れる。食欲が落ちやすい方は脱水症に注意。

● お酒は利尿作用があるので注意

お酒を飲んだ以上に尿として水分が出ていってしまう。

● 高齢者の脱水に注意

のどの渇きを感じにくい、筋肉量が減り、からだに水分を蓄えにくくなる、排泄の手間から水分摂取を敬遠されるなど様々な要因がある。

※心臓病・糖尿病・腎臓病など慢性疾患がある方は塩分・糖分・水分の取り過ぎに注意が必要



リハビリテーション科
皆吉 彰子

＋ 正しい運動を知ろう

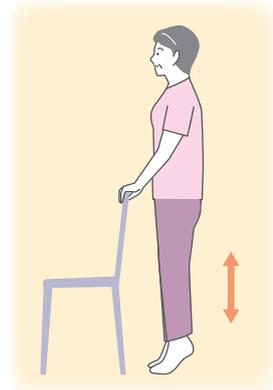
たかが踵あげ？ されど踵上げ！ 第2の心臓を鍛えよう!!

体の部位で第2の心臓とはどの部分かご存じですか？TVでも話題となりました、両足のふくらはぎです。この第2の心臓を鍛える効果は、筋力増強を始め、血流促進によるむくみや冷えの予防、日常的な転倒の予防につながります。運動としてはつま先立ちをするだけなのですが、今回は効果を高めるために運動をするときの姿勢に着目して注意点をお伝えします。

まず、運動は立った状態でなにか支えになるものに手を添えて行いましょう。

回数は10回を1セットにします。

- 1 踵をあげるときは膝を伸ばして行います。
- 2 踵をあげたとき足の親指に体重をかけましょう。
*ほとんどの方が小指側に体重がかかりやすいです。
- 3 踵をあげたときに腰を反らないように視線はつま先に向けましょう。
*この時自分のお腹でつま先がみえないときは腰を反っているサインになるので要注意!



KASHIIHARA

香椎原病院だより

香椎原病院ホームページに「病院カタログボックス」を掲載しています

香椎原病院では、「回復期リハビリテーション」や「地域包括ケア」の入院病棟、介護保険施設の「介護医療院」、「訪問看護」「訪問リハビリテーション」「デイケア」を提供する医療・介護の在宅サービス、さらに高齢者専用の健康増進施設「体力向上支援センター」など多くの利用が可能です。これらの設備情報を多くの方に手軽にご覧いただけるよう、香椎原病院ホームページ内に各カタログを掲載しました「病院カタログボックス」ページを設けています。ページ内のカタログ(パンフレット類)は、パソコンやスマートフォン上での閲覧や印刷してご利用いただけます。掲載していますカタログ類は郵送ご希望の方にはお送りすることもできます。



「病院カタログボックス」のお問い合わせ

香椎原病院 地域連携室

TEL 092-662-1362 (月～金9:00～17:00)

病院カタログ
ボックス
QRコード



病院及び関連施設のご案内



日本医療機能評価機構
認定病院

原三信病院



〒812-0033 福岡市博多区大博町1-8
☎092-291-3434 FAX 092-291-3424
URL <https://www.harasanshin.or.jp>
✉ info@harasanshin.or.jp



●診療時間

月～金曜日 9:00～13:00 14:00～17:00

※土・日・祝祭日および12月30日～1月3日はお休みです。但し、急患の患者さんは、救急外来にて診察いたします。また、12月29日は午前診療のみとなります。

●診療科目

総合診療科	循環器科	消化管内科	肝胆膵内科
血液内科	呼吸器科	腎臓内科	糖尿病内科
脳神経内科	外科	胸部外科	乳腺内分泌外科
整形外科	脳神経外科	泌尿器科	婦人科
放射線科	麻酔科	歯科・口腔外科	
病理診断科		健康管理センター	

無料

シャトルバスのご案内



原三信病院 ↔ 博多港 を運行中。

患者さんはもちろん、ご家族の方やお見舞の方もご利用下さい。

※詳しくは病院内の時刻表をご覧ください。



香椎原病院 ↔ 千早駅西口 ↔ 吉塚駅東口
原三信病院 間を運行中。

シャトルバス時刻表

	香椎原病院発	千早駅西口発	吉塚駅東口発	原三信病院着	原三信病院発	吉塚駅東口発	千早駅西口発	香椎原病院着
午前	9:30		→	10:00	10:10	10:20	10:40	10:50
午前	11:25	11:35	11:55	12:05	12:15	12:25	12:45	12:55
午後	13:40	13:50	14:10	14:20	14:30	14:40	15:00	15:10
午後	15:40	15:50	16:10	16:20	16:30	→		17:00

運休日：日曜・祝日・年末年始

※時刻、路線は変更することがございます。詳しくは受付にてお尋ね下さい。



原三信病院附属 呉服町腎クリニック



〒812-0035 福岡市博多区中呉服町1-25
☎092-262-2828 FAX 092-262-2853
✉ gofukumachi@harasanshin.or.jp

●透析シフト

月～土曜日 9:00～(昼透析)
16:00～(夜透析)

※透析は週3回(月水金・火木土)の昼と夜の4シフトで行います。

●診療内容 人工透析

香椎原病院



〒813-0011 福岡市東区香椎3-3-1
☎092-662-1333 FAX 092-662-1330
URL <http://www.kashiwara.or.jp/>

●診療時間

月～金曜日 9:00～13:00
14:00～17:00

●診療科目

内科・リハビリテーション科・循環器内科



原三信おおはまクリニック



〒812-0034 福岡市博多区下呉服町2-13 双和ビル2F
☎092-283-5121 FAX 092-283-5131

●診療時間

月・金・土 9:00～13:00
火・水・木 9:00～13:00
14:00～18:00

●診療科目 外科・乳腺外科・泌尿器科

訪問看護ステーション おおはま

〒812-0034 福岡市博多区大博町1-8
原三信病院 本館6F
☎092-262-4626
FAX 092-291-3046

●受付時間

月～金曜日 9:00～17:00

●提供サービス内容

訪問看護・訪問リハビリ
居宅介護支援(ケアプラン作成)